



- 令和6年度国産農畜水産物に含まれる有機フッ素化合物（PFAS）の実態調査や試験研究の結果について～国産農畜水産物からのPFOS、PFOA摂取量は、耐容摂取量と比較して十分に少ないことが判明～

今回の結果から、

- ・調査対象品目（14品目）の分析結果（濃度）と平均消費量を用いて、これらの品目からの総摂取量を試算すると、PFOSで0.10 ng/kg体重/日、PFOAで0.08 ng/kg体重/日であり、耐容一日摂取量（TDI）※1 20 ng/kg体重/日と比べると、それぞれ十分に少ない水準にあること
- ・水稻の栽培試験の結果から、土壌中のPFOS及びPFOAは、ほとんど玄米に移行、蓄積しないことが分かりました。

※1 耐容一日摂取量（TDI）：意図的に使用されていないにもかかわらず、食品中に存在する物質について、ヒトが一生涯にわたって毎日摂取し続けても、健康への悪影響がないと推定される一日あたりの摂取量のこと。体重1 kgあたりの摂取量で示される。令和6年に内閣府食品安全委員会は、PFOS及びPFOAのそれぞれについて、TDIを20 ng/kg体重/日と設定。

品目により含有実態が大きく異なる可能性が示唆されたことから、令和7年度は対象品目を拡大した含有実態調査や、特異的に高い値が見られた試料の含有実態の把握及び要因の調査を行います。

※詳細につきましては下記HPを参照してください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/seisaku/250828.html>

#### 【お問合せ先】

（含有実態調査に関する事項）

農林水産省 消費・安全局食品安全政策課

担当者：漆山、勝田

代表：03-3502-8111（内線4459）

ダイヤルイン：03-3502-7674

（試験研究に関する事項）

農林水産省 消費・安全局食品安全政策課 食品安全科学室

担当者：阪本、古川

代表：03-3502-8111（内線4451）

ダイヤルイン：03-3502-5722

○ 最近の各種統計情報の公表について

【年計調査】

- ・ 8月29日 令和7年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込み
- ・ 8月29日 農業経営統計調査 令和6年産そば生産費
- ・ 8月29日 農業経営統計調査 令和6年産大豆生産費（個別経営体）
- ・ 8月29日 農業経営統計調査 令和6年産大豆生産費（組織法人経営体）
- ・ 8月29日 作物統計調査 令和6年産指定野菜（秋冬野菜等）及び指定野菜に準ずる野菜の作付面積、収穫量及び出荷量 併載：令和6年産野菜（41品目）の作付面積、収穫量及び出荷量（年間計）

※詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「統計情報」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

○ お知らせ済の各種説明会等

● 農福連携に取り組む優れた事例を表彰！「ノウフク・アワード2025」募集開始！

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）は、農福連携に取り組んでいる優れた事例を表彰する、「ノウフク・アワード2025」の募集を開始します。

【応募対象】

農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等（高齢者や生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、犯罪をした者等を含む。）が農林水産分野で能力を発揮することによって、農林水産分野と福祉分野が抱える様々な課題の解決、障害者等の社会参画、農林水産業の維持・発展や地域活性化の実現に貢献している団体等を対象とします

【募集期間】

令和7年8月4日（月曜日）から令和7年9月30日（火曜日）まで

※応募方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「プレスリリース」（近畿農政局HP）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/250804.html>

【お問合せ先】

近畿農政局 都市農村交流課 担当者：空田、楠本  
ダイヤルイン：075-414-9065（内線 2590、2591）

● 「第10回ジビエ料理コンテスト」の応募者の募集について

本コンテストは、鳥獣利活用推進支援事業において、「一般社団法人国産ジビエ認証機構」が取り組むもので、選定・表彰された料理レシピを広く紹介・提供することで、消費者等への普及啓発を図り、ジビエの全国的な需要拡大と鳥獣利活用の推進を図るものです。

今年度は、「一般部門」と「小・中・高校生部門」の2部門に分けて、幅広くレシピを募集します。

【募集内容及び条件】

(1)募集テーマ

国産のシカ・イノシシを使用し、多くの人のご家庭で作れて、安全でおいしく楽しめる料理

(2)応募資格

<一般部門>

プロ・アマ不問。調理を専門に履修している高校生。

<小・中・高校生部門>

小学生、中学生、高校生。チーム（1チーム3名まで、小学生、中学生のチームは親子参加も可）。

【応募の締切】

令和7年10月31日（金曜日）必着

※応募条件や応募方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/250806.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課 担当者：伊藤、米澤  
代表：03-3502-8111（内線 5491）ダイヤルイン：03-3502-6041

●（募集開始）持続的な食料システムの普及に貢献する製品の表彰制度を創設！

～「FOOD SHIFT セレクション」へのご応募をお待ちしています！～

「FOOD SHIFT セレクション」とは、改正基本法の理念のうち「地産地消または国産農林水産物の消費拡大」「みどりの食料システム戦略の推進」「家庭備蓄の市場拡大」「インバウンド消費拡大」という4つの視点で、美味しさや、ストーリー等が魅力的な産品を募集し表彰する新しい制度です。

「優秀賞」、「最優秀賞」の産品は、「スーパーマーケット・トレードショー2026」への展示や流通各社の販売チャネル等を通じてより多くの消費者の皆様へ届くように様々な媒体で発信されます。また、入賞特典として、「FOOD SHIFT セレクション」ロゴマークを使用して販売いただけます。最終審査で選定された「最優秀賞」は11月に開催する表彰式にて表彰いたします。

#### 【応募対象】

応募対象主体：ニッポンフードシフトの推進パートナーに登録した日本国内の農林水産物に係る事業者（農林水産物の生産者を含む）（注）

（注）現在推進パートナーに登録していなくても、新たにパートナーに登録いただければ応募可能です。

表彰対象産品：次の4部門のいずれかに該当する産品

- (1) 地産地消または国産農林水産物の消費拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の産品
- (2) みどりの食料システム戦略の推進に寄与する国産農林水産物・加工食品等の産品
- (3) 家庭備蓄の市場拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の産品
- (4) インバウンド消費拡大に寄与する国産農林水産物・加工食品等の産品

産品とは、穀物類（米、麦、トウモロコシ、ソバ、大豆等）、野菜、果物、畜産（食肉、乳製品、鶏卵、蜂蜜等）、水産（魚介、海藻等）、調味料（味噌、醤油、調味料関連製品等）、加工食品（麺類・菓子類、調味冷凍食品、レトルトパウチ食品等）、中食（弁当、総菜）、飲料（アルコールを含まない）、その他

同一企業・団体から複数の産品を応募することができます。

#### 【応募期間】

令和7年7月15日（火曜日）から令和7年9月5日（金曜日）まで

※応募方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください。

「プレスリリース」(農林水産省HP)

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/250715.html>

【お問合せ先】

農林水産省 大臣官房政策課食料安全保障室 担当者：宮下・児嶋・水本

代表：03-3502-8111 (内線 3105) ダイヤルイン：03-3502-8072

● 令和7年度 農山漁村女性活躍表彰

「農山漁村女性活躍表彰」は、農林水産業及び農山漁村の活性化、農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入などの優れた活動を行っている個人や団体を表彰し、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境をつくり、農林水産業の発展に寄与することを目的としています。

【応募期間】

2025年7月4日～2025年9月30日

【応募資格】

部門により異なります。詳細は以下のHPをご覧ください。

【募集部門】

A:女性地域社会参画部門(個人)、B:女性地域社会参画部門(組織)、

C:女性登用・組織参画部門、D:女性優良ビジネス部門、

E:女性新規事業・チャレンジ部門、F:女性活躍応援・次世代育成支援部門

※応募締切 2025年9月30日

※応募方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください。

「令和7年度 農山漁村女性活躍表彰」(外部リンク：株式会社マイファーム)

<https://myfarm.co.jp/women/award/>

【お問合せ先】

運営主体：株式会社マイファーム

E-mail：[mfaward\\_r04@myfarm.co.jp](mailto:mfaward_r04@myfarm.co.jp)

TEL：050-5527-2841 (9:00～17:00 土日祝除く)

- 「食と農をつなぐ朝ごはんコンテスト2025」に係るレシピを募集します～簡単朝ごはん、毎日食べよう！～

近畿農政局及び大阪ガスネットワーク株式会社は、学生の皆様が「食」や「地元近畿の有機農産物等」に関心をもち、自ら考え作ってみることで、食に対する意識、行動の変化を促すことなどを目的に、朝ごはんレシピ（おむすびと一品料理）を募集します。

応募されたレシピは、近畿農政局のホームページ及び大阪ガスネットワーク株式会社の食育ホームページに掲載するとともに、優秀な料理に対して表彰を実施します。たくさんの学生の皆様のご参加をお待ちしております。

#### 【募集期間】

令和7年6月26日（木曜日）～令和7年10月31日（金曜日）17時まで

#### 【応募内容】

- ・おむすび+α（1品）の朝ごはんレシピ※  
※1人分（おむすび2個と1品料理）×2
- ・近畿の有機農産物等を1つ以上使用
- ・ガスコンロ（グリル含む）使用など

#### 【対象】

学生2名チーム

（高校生、大学生、短大生、専門学校生など）

※応募条件や応募方法等詳細については、以下のHPを参照してください。

「プレスリリース」（近畿農政局HP）

[https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/250626\\_1.html](https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/250626_1.html)

#### 【お問合せ先】

近畿農政局 消費・安全部消費生活課 担当者：田村、江添、脇坂

ダイヤルイン：075-414-9771

- 「雇用就農資金」令和7年度第2回目の募集を実施します（令和7年10月事業開始分）

農林水産省では、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を交付しています（雇用就農資金）。

今般、令和7年10月からの事業開始を希望される方を対象として、令和7年度第2回目の募集を実施します。

#### 【雇用就農資金の事業タイプと募集期間】

